

議 事 録

会 議 名	令和6年第1回愛知県安城警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年2月28日（水） 午後3時から午後5時10分まで ----- 安城警察署講堂
出 席 者	1 委員 福江 美穂 会長 加藤 領助 副会長 山田 哲夫 委員 山田 彩織 委員 鈴木 淑子 委員 柴橋 邦彦 委員 富田 昌義 委員 鈴木 一 委員 太田 安彦 委員 以上9名（定数12名） ----- 2 警察署 渡邊 署長 金田 副署長 山下 捜査指導官 渡辺 警務課長 廣永 会計課長 足立 生活安全課長 南 地域課長 島 刑事課長 古川 交通課長 村松 警備課長 渡部 知立交番所長 以上11名 ----- 3 有識者等 なし
諮 問 事 項 等	自転車盗の被害防止対策
答 申 等 の 概 要	1 被害マップの回覧、現地への盗難発生表示等で自転車盗が自分事であるという意識を持たせる。 2 教育、周知等で自転車を大切に扱うことや、犯罪を誘発する道具になる可能性があることを知ってもらう。 3 自転車のカスタマイズやデコレーションで盗まれにくくする。 4 交通安全教室で交通ルールと合わせて施錠についても教育する。 5 自転車盗は犯罪であるということを周知する。 6 目のイラストを設置する等、盗みにくい環境をつくる。 7 学生向けのキャンペーン、イベント（グッズの配付、標語募集、おしゃれ自転車のコンクール等）を行う。
そ の 他	次回開催予定 令和6年5月中旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	新委員挨拶
2	新会長及び副会長の選任
3	新会長及び副会長挨拶
4	幹部紹介
5	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 交通事故発生状況（交通課長説明）
	(3) 速度取締指針説明（交通課長説明）
6	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	中高年警察官の活性化方策
	(2) 答申事項
	ア 外部機関等の講師による研修
	外部等から講師を招き、健康管理、介護等の研修を行う。
	イ コミュニケーション機会の創出
	上司との会食、職員の趣味、価値観についてアンケートの実施等コミュニケーションの機会を創出する。
	ウ プロジェクトの責任者や教育の講師等知識経験を活かせる機会の拡充
	エ 運動の機会を与えたり、健康診断、休暇等の制度の周知
	(3) 推進施策（地域課長説明）
	ア 答申事項アについて
	○ 外部講師による健康セミナーの開催
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
○ 外部講師による貯蓄に関するセミナーを開催	
イ 答申事項イについて	
○ 中高年警察官と警察署幹部による食事会の開催	
○ 趣味や価値観についてのアンケートの実施	
ウ 答申事項ウについて	
○ 知識、技能を有する職員を教養補助者に指定	
○ 教養補助者による現場における指導教養を実施	
○ 現場における不安な業務についてアンケートを実施	
○ アンケート結果を教養資料として配付	
エ 答申事項エについて	
○ 体組成計による体診断測定会の開催	
○ 昼休憩時の体操を促進し運動の機会を創出	
7 諮問	
(1) 諮問事項	
自転車盗の被害防止対策	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
ア 令和5年中、安城警察署における刑法犯認知件数は1,495件と前年より41件減少する中、自転車盗の認知件数は404件と前年より81件増加した。	
イ 刑法犯全体に占める自転車盗の割合は27%と大きく、地域の安全を確保していくためには自転車盗の被害を減少させるかが重要となる。	
ウ 自転車盗被害の無施錠割合を下げ、学生の被害をいかにして減らし、更には若年層の犯行をいかにして思いとどませるかが課題であり諮問	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
事項として設定した。	
エ クラウド型授業支援システムを活用した参加型クイズによる自転車盗	
被害の現状説明	
オ 仕掛け学に基づく「仕掛け学タグ」の活用状況と効果の説明	
8 協議	
委員 ・ 玄関に入った時に靴が乱れていると心も乱れているのではない	
かと感じることもある。	
きれいな自転車や駐輪場に整然と並べられている自転車であれば盗もうという気も起きないのではないだろうか。	
委員 ・ 学生の被害が多いと知り、学生向けに自転車盗の被害防止講話	
を開き、併せて通勤通学時間帯に自転車利用者に対する被害防止	
キャンペーンやイベントを開催してはどうだろうか。	
高校生だけでなく小学生等の年少者を対象とし、自転車には鍵	
をかけることを浸透させてはどうだろうか。	
委員 ・ 自転車の無施錠割合を減らしていく取組が必要である。	
過去に2, 3分だけ無施錠で離れたときに盗まれてしまったこ	
とがある。	
自転車を盗まれる場所が、店舗駐車場だけでなく自宅やアパー	
トからも多く盗まれていることを知り驚いた。	
市民にも施錠の必要性や自転車盗の実態を知ってもらう働きか	
けが必要だと感じた。	
自転車の盗難が多い会社には警察から注意喚起の通知を出すの	
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
も良いのではないか。	
委員	・ 防犯登録をするように呼びかけをしたことはあるが、施錠をするようにとの呼びかけはしたことがなかった。
学生への呼びかけをするとともに、保護者への呼びかけも実施するとよいのではないか。	
また店舗、自宅やアパートで自転車が盗まれた場所を地図上に落とし公開すれば、付近住民は危機感を持てるのではないか。	
パトカーはよく見かけることがあるが実際に歩いてパトロールをしている警察官は見たことがないので、歩いてのパトロールもしてもらいたい。	
地域のボランティアにも被害情報を伝え見守ってもらったり、回覧板で周知すること良いと思う。	
委員	・ 今まで駅前輪場での防犯対策キャンペーンはしたことがあるが会社での盗難被害が多いと知り驚いた。
カギかけを癖付けるように低年齢から教育することが必要であることに加えて、盗まれた時の不便さ、大変さも教えるべきである。	
委員	・ 無施錠被害が多いことから、自転車から降りると自動的にカギがかかるように自転車メーカーに働きかけてみてはどうだろうか。
自転車を盗むのは若年層が多く、その理由として犯罪意識が低いからだと思う。	
自転車を盗むことは犯罪であることを周知していく必要がある。	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
<p>犯罪者は人の目を気にするというので、犯行を思いとどまらせるように誰かに見られているという感じの目のイラストが入ったポスターを貼ったりするとよい。</p>			
委員	<p>・ 中学生、高校生になると自転車に乗る機会が多くなり自転車で学校に通う人も多くなる。</p> <p>新学期に新入生を対象とした交通安全教室の中で自転車の盗難防止についても話をすればよいのではないか。</p>		
委員	<p>・ 他県においては条例でカギをかけることを義務化したところもあり住民全体で自転車の施錠を習慣化させていると聞いた。</p> <p>すぐに条例化することは難しいとは思いますが自治体に働きかけるのもよい。</p> <p>今まで駅の駐輪場が一番盗まれる場所だと思っていたので店舗での被害が多いことに驚いた。</p> <p>自転車が倒れていたり雑に置かれていると盗みやすい環境に思われることから、駐輪場の管理者への注意喚起も必要である。</p> <p>また、目立つ自転車は盗まれにくいと思うので、自転車へステッカーを貼るなど、盗みにくい環境を作り出すことにより盗難防止に効果があるのではないか。</p>		
委員	<p>・ 会社の周りで放置自転車が何台もあり警察に通報したところいづれも被害届が出されていない自転車であり、物を大切にしない人が多いと感じた。</p> <p>自分の自転車を大切に扱うことや、盗難にあつたらすぐに被害</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警 務 係 長</td> </tr> </table>	記録者	警 務 係 長
記録者	警 務 係 長		

会議の経過及び発言の要旨	
を届け出ることを教えることも必要である。	
物を大切に扱う気持ちになれば、盗まれないように自転車の鍵	
かけ等もするのではないか。	
私の体験上では、特徴のない安価なビニール傘は盗まれやすい	
が、目立つ派手な傘は盗まれにくいため、盗難防止も考慮に入れ	
て敢えて派手な傘を使用している。	
自転車も同じようにカスタマイズやデコレーションなどして目	
立つようにすれば盗難防止に効果があるのではないか。	
委員	・ 交通事故防止の標語があるように、自転車の盗難防止標語や鍵
	掛の標語を募集する。
委員	・ 盗難された自転車は他の犯罪に使われたりすることもあるので、
	自転車の盗難防止に対する意識の醸成が必要。
委員	・ 若年層の犯行をいかに防ぐか、いかにして思いとどませるか
	を考えなければならない。
	若年層の中にはノリや勢いで自転車を安易に盗んでしまう人も
	いる。
	自転車を盗むとどのような処罰となるか事例を交えて教えてい
	く教育が必要である。
委員	・ 自転車利用が多い高校生向けに盗難防止物品の配付やキャンペ
	ーンを実施すれば効果があるのではないか。
9 答申	
(1) 被害マップの回覧、現地への盗難発生表示等で自転車盗が自分事である	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
という意識を持たせる。	
(2) 教育、周知等で自転車を大切に扱うことや、犯罪を誘発する道具になる可能性のあることを知ってもらう。	
(3) 自転車のカスタマイズ、デコレーションで盗まれにくくする。	
(4) 交通安全教室で交通ルールとあわせて施錠についても教育する。	
(5) 自転車盗は犯罪であるということを周知する。	
(6) 目のイラストを設置する等、盗みにくい環境をつくる。	
(7) 学生向けのキャンペーン、イベント（グッズの配付、標語募集、おしゃれ自転車コンクール等）を行う。	
10 その他	
次回開催予定については、令和6年5月下旬から6月上旬とする。	
記録者	警務係長